

ねらい

- 発達障害の定義と発達障害への理解の促進 【基本理念】社会的障壁の除去、意思決定の支援
- 発達障害者に対する生活全般にわたる支援の促進 【基本理念】共生社会の実現
- 発達障害者支援を担当する部局相互の緊密な連携の確保 【基本理念】切れ目のない支援

定義

定義：発達障害（自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害などの脳機能の障害で、通常低年齢で発現する障害がある者であって、社会的障壁により日常生活または社会生活に制限を受ける者

地方自治体

<乳幼児期>

- 乳幼児健診等による早期発見
- 早期の発達支援（療育）
- ・保護者（里親等を含む）への情報提供、育児等の助言

<学齢期>

- 就学時健康診断における発見
- 適切な教育的支援・支援体制の整備
- ・発達障害では無い児童と共に教育を受けられるよう配慮
- ・個別の教育支援計画／個別の指導計画の作成の推進
- 放課後児童健全育成事業の利用

<成人期、高齢期>

- 就労の機会の確保
- ・定着の支援、事業主の理解
- 地域での生活支援
- ・性別、年齢、状態等に応じた支援
- 発達障害者の権利擁護
- ・成年後見制度の適切な利用、周知

- ・関係機関等の有機的連携、・個人情報共有に留意し情報共有を促進、・いじめの防止及び虐待の防止等のための対策
- ・司法手続きについて特性に応じた意思疎通手段の確保等の配慮、・家族が互いに支え合うための活動の支援

- 支援体制整備のため課題共有、連携緊密化、体制整備協議のための発達障害者支援地域協議会の設置
- 人材育成、養成
- 発達障害者支援センター（可能な限り身近な地域で支援が受けられるよう配慮）
- 専門的医療機関の確保

国

- 調査研究（性別、年齢、状態等の視点、国際的動向に留意）、○情報発信、普及啓発、○専門的知識を有する人材確保

自立と参加の応援

どの環境でも対応

計画的な体制整備